



五中だより

令和 7 年 5 月 1 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

全国初！恐竜学部がスタート

校長 伊藤 克行

福井県の国立大学に全国で初めて恐竜学部が開設されました。恐竜といえば福井県といわれるほど多数の恐竜化石が見つかっており、恐竜博物館をはじめ、恐竜にまつわるさまざまなスポットが有名です。この恐竜学部への入学希望者が殺到し、難関を突破した34名の新入生の大学生活がスタートしました。3年次には実際に海外に出て、現地の学生と触れ合ったり、地元の人と触れ合ったり、化石を見たり、発掘したりということを行うそうです。聞いているだけでワクワクする気持ちになります。

皆さんは大学には恐竜学部以外にも様々な学部があることを知っていますか。大学の設置基準が改正されたことで、以前は11しかなかった学部が多様化され、学科まで含めると現在約800種類ほどが存在します。たくさんの選択肢が生まれ、学びたいことが学べる良い環境になったように見えますが、実際に自分が選ぶとなったらとは思いませんか？少し考えてみてください。

やりたいこと、学びたいことがなかったり、まだわからなかったりしたらどうでしょうか。レストランで「ハンバーグとラーメンどちらにしますか」だったら、すぐに決められても、800種類のメニューから選ぶとしたらすごく難しくなるわけです。

話を元に戻しましょう。中学生の皆さんが仮に福井大学の恐竜学部で学びたいと思ったとします。今年の入試を例にとれば、前期日程の倍率は7.3倍、後期日程の倍率は27.3倍だったそうです。都立高校の推薦入試でさえ2倍を超える程度ですから、今年度、いかに高倍率だったかが想像できるはずです。しかし、皆さんがどうしても進学したいとしたら、恐竜学部について調べ、どんな力をつけたら入学できるかを調べるはずです。そして合格できるように一生懸命勉強するのではないのでしょうか。

ほとんどの中学生が経験する高校入試はどうでしょうか？東京都内には数多くの高校が存在しますのでどの高校に進むか、皆さんも大いに悩むことになります。もしかすると学力や成績で高校を選ぶ人が多いかもしれませんが、どの高校に行きたいかを決めるのは確かに難しいことですが、まさにこれこそやりたいことを見つける練習と考えてみてはどうでしょうか。多くの皆さんがもし大学進学するとしたら800の中から自分の行きたい学部学科を見つけるわけですから、絶対に必要な練習です。しかも、恐竜学部に行きたくて勉強する人の気持ちやモチベーションを想像してみてください。もしかしたら皆さんがたまに思ったりしている「なんで勉強なんかしなきゃいけないの」とか「勉強なんてちっとも面白くない」とはきっと考えないと私は思います。そして恐竜学部の合格を手に入れられなかったとしても、そこに行くためにした努力は決して無駄になることはないでしょう。

今の自分の学力（実力）で高校を考えるのではなく、行きたい場所に行くために力をつけると考えることができれば素敵だとは思いませんか。私は皆さんにそんな進路選択をしてほしいと願っています。

お子様のスマートフォン等の使い方について

近年子どものスマートフォンやタブレットの所持率が高まり、そのことによる様々な課題が生じています。本校では「よりよい使い方、より効果的な使い方」を念頭に、学習者用端末の活用について年間を通じて指導しています。しかしながら例年、スマートフォン、それを使用した SNS でのトラブルが絶えません。

年度当初のこの時期に、あらためてご家庭でも以下のことを踏まえ、お子さんとよく話し合っていたくことで、スマートフォンやタブレットを「よりよい使い方」を意識して使えるよう、ご指導をお願いします。

（１）目的や使い方について

スマートフォンやタブレット等の端末を与える目的や使い方は様々ですが、お子様には「所有者は本人ではなく保護者である」ことを伝え、使用ルールやマナーについて今一度ご指導いただけるとありがたいです。

（２）自身や他の人の情報の扱いについて

法に定められたルールやトラブル事例を基にした自衛策に従って情報を扱うことが、犯罪やトラブルに巻き込まれないために大切です。以下の点を参考にしてください。

- ・自身や他の人の個人情報や、個人情報の特定につながる情報を安易に出さない。
（例 居住地域、年齢、家族構成、位置情報、写真の背景、写真の撮影日時 等）
- ・他の人を勝手に撮影しない、許可を得て撮影した場合でも勝手にネットに載せない。
- ・他の人について聞いた噂などを SNS グループに流さない。
- ・関係する人がトラブルに巻き込まれていることなどを知ったらすぐに大人に知らせる。

（３）SNS の使用について

連絡の手段、コミュニケーションの手段として使い始めることが多い SNS ですが、毎年トラブルが起きています。ご家庭で定期的に使用状況を確認し、不適切な使用が分かった場合にはすぐに使用を止めることや、関係の家庭間で連絡を取り、直接会って話すなどして解決することが必要です。

（起こりやすいトラブル）

- ・グループ内での参加者、参加していない人への悪口等
- ・グループ内での話を「〇〇が△△と書いていた」と伝える行為
- ・グループから突然外す行為

スマートフォンやタブレットは、新しい情報を得られることや、離れていても瞬時に考えや思いを伝えられることなど、紙にはない利点をもち、使い方次第で多くの可能性をもつ機器です。一方で「何のために」持つのか（持たせるのか）に立ち返る機会はあまり多くないかもしれません。

インターネットは多くの情報とつながることができます。個人と世界がつながる可能性と同時に危険性を併せもつ世界です。画面の向こうに誰がいるのか、何が起こりえるのか想像することが大切です。

コミュニケーションの基本は顔を合わせて直接話すことです。表情、声の調子などから互いの気持ちを感じながら話すことで、心を通わせることにつながります。文字のみのやりとりが必要な場合には、どのような注意が必要か考える必要があります。そしてメッセージや投稿を送信する前に立ち止まって、送った相手がどう感じるか、送った後に何が起こりえるか、想像することが大切です。

よりよい使い方を大人も一緒に考えていけるよう、ご家庭のご理解とご協力をお願いします。